

'70

# 会報



THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA

## 鶴岡ロータリー

第 560 号

1970.7.11 (火)



新会長 小池 繁治 君

会報はご家族みんなで読みましょう

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

### “BRIDGE THE GAPS.”

#### 出席報告

|       |   |        |
|-------|---|--------|
| 本日の出席 | 会員数   | 65名    |
|       | 出席数   | 48名    |
|       | 出席率   | 73.85% |
| 欠席者   | 阿宗君、張君、長谷川(文)君、長谷川(悦)君、平田(圭)君、平田(貢)君、石井君、石黒君、粕川君、黒谷君、佐藤(昇)君、笹原君、篠原君、手塚(林蔵)君、手塚(林治)君、富樫君、藪田君 |        |
| 前日の出席 | 前回出席率   | 71.43% |
|       | 修正出席数   | 51名    |
|       | 確定出席率   | 80.95% |

マークアップ 阿宗君一新庄RC  
齋藤(得)君一万博  
三井(賢)君、黒谷君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君  
一鶴岡西RC

ビジター 高梨四郎君、鈴木武弥君 一余目RC  
齋藤源吾君一温海RC

#### 会員誕生

廖萬江君、黒谷正夫君、嶺岸光吉君

#### 奥様誕生

飯白安江様、小池英様、齋藤信子様、

佐藤清子様、張生妹様、手塚定栄様、富樫貞様、藪田淳子様

#### 皆出席

|         |               |
|---------|---------------|
| 10年間皆出席 | 海東与蔵君         |
| 6年間皆出席  | 五十嵐三郎君        |
| 5年間皆出席  | 五十嵐一郎君、鈴木弥一郎君 |
| 2年間皆出席  | 小池繁治君         |
| 1年間皆出席  | 上野三郎君         |

#### 6月100%出席 35名

阿部(公)君、安藤君、阿部(襄)君、張君、早坂(源)君、林君、石黒君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、海東君、加藤君、小花君、小池君、今間君、嶺岸君、三井(徹)君、上林君、三井(賢)君、三井(健)君、五十嵐(八)君、中山君、阿宗君、上野君、佐藤(昇)君、鈴木(善)君、新穂君、鈴木(弥)君、小野寺君、佐藤(忠)君、高橋君、鷺田君、廖君、伊藤君、長谷川(悦)君

#### 入会バッチ贈呈

早坂(徳)君

#### 例会概念

新役員らで運営される新年度第1回の例会は、よそおい新しい新しいホテル山王閣二階大広間において、鶴岡西クラブと合同で開催された。しかも家族会を兼ねて行われ、例会後は

70  
29  
41

近くの鶴岡信用金庫荒町支店に席を移し、三百有余年の伝統にいきる結城孫三郎一座の人形劇を観賞し、幾多の感銘を与え、盛会裡に散会した。

### 会長の言葉

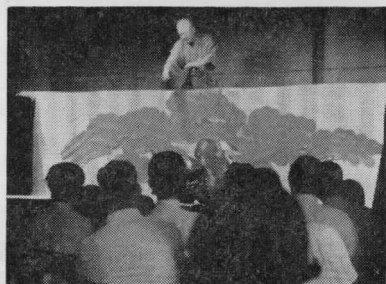
第1回目の例会を家族会を兼ねて行うので運営上いろいろ不手際のあったことについて容赦ねがいたい。

この建物では、構造上結城孫三郎の人形劇を行うことが出来ないで、近くの鶴岡信用金庫荒町支店で行うことになった。不便と思うが了承を請う。

### 結城孫三郎氏の歴史

江戸の人形芝居の座元名で、現在10世を称する。ただし代数、年代、系統については明でない。結城孫三郎の名は1665年(寛文5年)に江戸葺屋町に説経節のあやつり座を創立した人としてあらわれる。

宝永年代に刊行された説経節の正本に大夫としての名が署名されているが、のち義太夫節の座に転向し、天明期の江戸浄瑠璃を上演した。また文化9年には子供芝居となり、その後休座して、天保2年にひさびさで開場し嘉永5年に閉座している。9世(先代)は、従来の糸あやつりを改革し、明治33年市村座で義太夫節による糸あやつりをはじめた。



### 結城孫三郎人形座の紹介(当日の説明)

当地にお目見えするのは始めてであるが、今から334年前寛永12年徳川3代将軍家光の時代に、人形劇として生れたもので、現代は10世に当る。その間、時代の変遷に伴い、舞台装置、照明、音曲その他種々と改良を加えられている。

江戸時代から続いてきたあやつり人形を、人形芸術まで引上げたのは、9世孫三郎だが日本の古典芸術の伝承と保存は、新しい今日の芸術として発展させた10世孫三郎の功績も大きいとされている。ゆえに昭和31年には東京都無形文化財に指定され、さらに翌32年芥川龍之介作(キリントロ上人伝)で芸術祭文部大臣賞を受賞している。

あやつりは、手板に糸を18本、多いものは40本以上も吊し、これをあやつりながら、人形が仕ぐさをするもので、あやつりの上手が至芸の業を競うのである。

本舞台は、鉄枠を組んで仕込むのであるがこの度は仮舞台であるので、および腰であやつりを相つとめることとなったのである。

9代目市川團十郎の全盛の時代に、團十郎の要請に応え、やはり仮舞台で、人形劇をご覧に入れ、称讃を得ている。

### 上演人形劇の説明

#### (1) あやつり三番叟

この舞は、古くから神事として作物がよく出来るようにと祈り舞われたものである。そのため動きの中に、いろいろの意味をふくんでいる。

又、この舞いでは、出使いとして、人形使いが姿をみせてあやつりませる。

#### (2) 弥次喜多道中記

例の十返舎一九の弥次喜多道中記の内、赤坂並木より古寺迄を、江戸時代の雰囲気を楽しむながら、江戸文楽を楽しくお目にかける江戸をヒョーンなことから食いつめた弥次郎兵衛と喜多八は、相かわらず呑気な旅を続ける。そしてここは赤坂の宿はずれの並木道…

#### (3) 杜子春(芥川龍之介作)

杜子春は無一文で、困って西門の下にぼんやり立っていると、老人があらわれ、金のあるところを教えてくれる。

杜子春はその金で、都一番の金持になる。人々は金のあるうちは大変親切である。しかし、その金も3年で使い果してしまう。すると誰一人として杜子春を振り向くものはないこのことが二度続いて、杜子春は、金のはかなさをしり、仙人になることに願をかけるが……

#### (4) 寿獅子

お正月、お祭のときに踊るもので、のどかな獅子、蝶を追う獅子、逃げられていかり狂う獅子など、人形ならではの動きをみせる。

### 幹事報告

- (1) 会報到着 八戸RC、白鷹RC
- (2) 例会日変更 郡山東RC  
8月より火曜日に変更
- (3) 地区大会案内  
352区10/3、10/4 花巻市民体育館  
353区9/20、9/21 大館市民体育館
- (4) チャーター・ナイト案内  
会津若松南RC 9月6日  
三重県津北RC 10月4日
- (5) 国際ロータリークラブ第353区派遣親睦使節訪米FMC混声合唱団長穴沢養一氏から7月15日12時羽田出発の挨拶状到着

### 短 信

眼の病のため休養中の手塚林蔵君は、通院されるまでに回復しておられる。現在経営先のホテルゆらにおいて庭いじりなどを行っている。例会に出席されるのも間近いであろう